

# 美しい 県土づくりNEWS



2010年  
2月

岩手県 県土整備部  
手づくり広報誌 67号  
平成22年2月22日発行  
編集 県土整備企画室

目次

- 2 県土整備部平成22年度当初予算のポイント
- 3 第38回土木技術研究発表会を開催
- 4 地域医療を支える救急搬送ルートの道路改善に向けた取組
- 5 三陸縦貫自動車道宮古道路・宮古中央インター線が開通します
- 6 都市計画道路宮古港線(栄町工区)街路事業完成
- 7 釜石管内初の三陸縦貫自動車道供用を目指して
- 8 森林管理道大畑線開設工事が進んでいます
- 9 市道石堂構井田線が開通(一関市)
- 10 木造住宅耐震改修事例集を作成しました
- 11 第6回いわて住まいの講座を開催します
- 12 「八幡平アスピーテライン」、「樹海ライン」開通予定日のお知らせ
- 13 さかなクンと遊ぼう! 『川と親しむ標語』コンクール作品募集中

黄金の國、  
いわて。



## 主要地方道栗駒衣川線餅転橋の本体復旧工事が完成！！ ～平成20年岩手・宮城内陸地震の復旧完了にまた一步前進～

平成20年岩手・宮城内陸地震で橋脚などが傾いたことにより全面通行止めとなっていた奥州市衣川区の主要地方道栗駒衣川線餅転橋の本体復旧工事が完了し、平成22年1月22日に開通しました。

本体復旧は、平成21年3月に着手し、傾いた橋脚、橋台を付替えるとともに、今度の地震災害に備え、耐震補強工事も行いました。今後は、仮橋や工事用道路の撤去工事を行うこととしています。

もちころばしはし  
開通した餅転橋



# 県土整備部 平成22年度当初予算のポイント

～希望維新！希望ぬいて元年予算！～

県土整備企画室

(単位：百万円、%)

## 予算額

22年度当初予算	21年度当初予算	増減額	増減率
75,755.8	75,998.3	△242.5	△0.3

## 重点化する施策と主な構成事業

### 3つの重要課題

地域経済の活性化

地域医療への支援

H23 平泉世界遺産登録を契機とする観光振興

## I 産業を支える社会資本の整備

産業を支援する幹線道路ネットワークの構築などの推進、港湾や空港の整備と利活用の促進に向けた取組を展開します。

- 幹線道路ネットワークの構築
- 地域間の交流・連携の基盤となる道路整備の推進
- 港湾の整備と利活用の促進
- いわて花巻空港の整備と利用の促進

## II 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

地震や津波、洪水、土砂災害などから、県民の安全・安心を確保するため、防災施設の整備やソフト施策を推進します。また、県民がいきいきと暮らせる社会を実現させるため、地域医療を支援する道路整備や歩道や道路防災施設の整備に取り組みます。

- 地震・津波災害対策の推進
- 洪水・土砂災害対策の推進
- 日常生活を支える安全な道づくりの推進

## III 豊かで快適な環境を創造する基盤づくり

道路等の都市基盤整備やユニバーサルデザインによる公共施設等の整備、地域特性を活かし省エネにも配慮した居住環境づくりや良好な水辺空間の保全と整備、生活排水対策などを進めていきます。

- 環境に優しいコンパクトな都市づくりの推進
- 美しく魅力あるまちづくりの推進
- ひとにやさしいまちづくりの推進
- 地域特性を活かし省エネにも配慮した居住環境づくりの推進
- 良好な水辺空間の保全と整備の推進
- 衛生的で快適な生活環境の確保

## IV 社会資本の維持管理と担い手の育成・確保

社会資本の維持管理を「事後保全型」から「予防保全型」へ移行し長寿命化を図ると共に、県民との協働により取り組みます。また、社会資本整備や住宅づくりの担い手である建設企業を育成・確保する環境整備を進めます。

- 維持管理計画に基づく適切な維持管理の推進
- 住民との協働による維持管理の推進
- 担い手としての建設企業の育成・確保

県土整備部の平成22年度当初予算のポイント、実施する主要事業の詳細は、こちらのHPをご覧ください！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2162&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=2156&pnp=2162&cd=24072>

## 第38回土木技術研究発表会を開催！

### 建設技術振興課

平成22年2月4日～5日の2日間、いわて県民情報交流センター（アイーナ）において、県土整備部主催、岩手県建設技術協会・（財）岩手県土木技術振興協会の共催で、平成21年度（第38回）土木技術研究発表会を開催しました。

開会にあたり、佐藤県土整備部長が挨拶を行い、「わたし自身も20代、30代のときに発表の機会があり、苦労もあったがスキルアップにもつながった。発表者にとってのスキルアップだけではなく、聴講者も発表者の追体験を通じて技術力向上に反映させて欲しい」と参加者に呼びかけました。

発表会には、県・市町村等の土木技術職員約200名が参加し、県土整備部からは道路、河川、海岸、空港など各分野における土木行政課題に対する取組みや、施工事例の紹介、新技術活用事例報告などの発表がありました。また、農林水産部、企業局、工業技術センター、北上市下水道課からもそれぞれの取組みの発表があり、合わせて17件の研究発表がありました。

また、国土地理院東北地方測量部の阿部次長から「基準点の標高改定とセミダイナミック補正について」と題して、現在進められている三角点標高成果の改定の概要や、GPS測量により見えてきた地殻変動の影響による測地成果の歪みとそれを補正する手法の考え方について説明をいただきました。

特別講演では、岩手大学前学長で、現在独立行政法人科学技術振興機構JSTイノベーションサテライト岩手の館長を務めておられる平山健一様から「岩手県の公共事業を考える」と題して、土木技術者や土木行政の役割について、その思いをお話いただき、我々に対し「単にモノを作るだけではなく、地域のゆたかさ、安全、産業発展につながる土木行政であって欲しい。そのためには、技術だけではなく社会学や歴史も幅広く学んで欲しい。」とのメッセージをいただきました。

講評では、建設技術振興課の菊地技術企画指導課長が、発表演題一つひとつに対してコメントしたうえで「今回の発表では、聴講者から積極的に質問が出され、たいへん感心した。本日の内容を今後の仕事に活かして欲しい」と締めくくりました。

今後とも、このような発表会などを通じて、良好な社会資本整備を担う土木技術職員の技術力向上に向けて取り組んで参ります。



# 地域医療を支える救急搬送ルートへの道路改善に向けた取組

県土整備企画室

県では、深刻な医師不足や医師の地域偏在、診療科偏在の解消に向けた医師確保対策や医療機関の機能分担と連携、救急医療体制の整備など地域医療体制づくりに取り組んでいますが、**道路等の社会資本整備においても、地域医療を支えるため、救急搬送における患者負担を軽減する道路の維持管理や整備に取り組むこととしました。**

## 1 救急搬送ルートの道路の現状（平成21年2月の消防機関へのアンケート調査から分析）

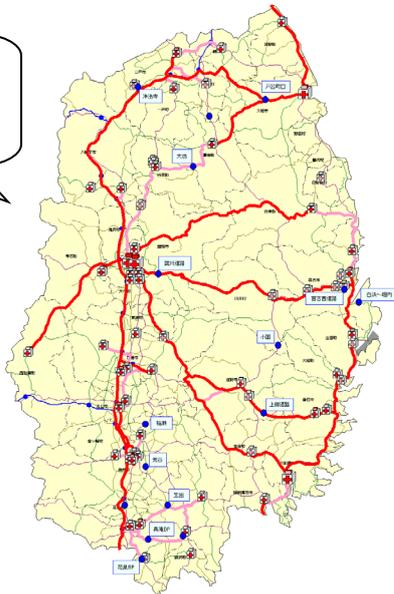
### ◆救急搬送のうち転院で走行する主なルート

救急搬送のうち転院を目的とする搬送は、より高度な医療を必要とする重篤な患者を長距離・長時間搬送するケースが多く、医療機関の機能分担と連携が進むと、今後更に増加すると考えられる。

回答のあった転院搬送  
1,768 件の 95%相当を  
カバー

二次保健医療圏外への  
主な転院搬送ルート

二次保健医療圏内での  
主な転院搬送ルート



### ◆救急搬送における支障項目数

通常の自動車走行においてそれほど大きな支障がないと思われる路面の凹凸などでも、救急搬送においては患者に少なからず負担をかけることとなる。

道路管理者	維持修繕系	改良系	計(項目)
国	24	20	44
県	77	94	171[116]
市町村	20	26	46
計	121	140	261

#### ○県管理道路の維持修繕系の支障項目数

段差凸凹	路面不良	支障木	計(項目)
51	24	2	77[66]

#### ○県管理道路の改良系の支障項目数

急カーブ	急勾配	狭隘	計(項目)
45	18	31	94[63]

※[]は箇所数

## 2 今後の取組

### ◆道路環境の改善

#### ①維持修繕系事業の実施

- ・今回報告のあった支障箇所（77 項目〔66 箇所〕）は、平成 22 年度末までに改善を図る予定。
- ・連絡会議から支障箇所の情報を収集し、順次改善を図っていく。
- ・なお、現在、主な転院搬送ルートにおいて 15 工区で切削オーバーレイ等を実施している。

#### ②改良系事業の実施

- ・今回報告のあった支障箇所と併せ、平成 22 年度に実施する救急搬送ルート追加調査結果や、連絡会議からの支障箇所の情報も事業計画に反映し、道路環境の改善に努めていく。
- ・なお、現在、主な転院搬送ルートの 8 工区で事業を実施しており、主な転院搬送ルート以外の今回報告のあった支障箇所を含めると、13 工区で事業を実施している。

### ◆連絡会議の設置

- ・消防本部と広域振興局土木部等で定期的に連絡をとる体制を 3 月を目途に確立し支障箇所等の情報共有を図る。得られた情報は県以外の道路管理者へも情報提供することとし、必要に応じてこれら道路管理者の連絡会議への参画についても要請する。

### ◆救急搬送ルート追加調査の実施

- ・平成 22 年度に転院搬送を含む搬送距離の長い救急搬送について追加で調査を実施し、二次保健医療圏を越える救急搬送ルートについても把握し、更なる道路環境の改善に努める。

地域医療を支える救急搬送ルートの道路改善に向けた取組の詳細は、こちらの HP をご覧ください！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2169&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=2156&pnp=2169&cd=23623>

# 三陸縦貫自動車道宮古道路・宮古中央インター線が開通します！

～インター名称は、宮古南 IC、宮古中央 IC に決定しました～

道路建設課

三陸縦貫自動車道「宮古道路」（国土交通省施行）、「宮古中央インター線」（岩手県施行）が平成22年3月21日（日）に開通します。

今回の開通により、宮古市内の交通混雑緩和による定時性・速達性の確保や、現道の線形不良区間が回避され、快適で安全・安心な交通の確保が図られます。

また、インター名称は、起点側 IC が宮古南 IC、終点側が宮古中央 IC に決定しました。

なお、開通に先立ち、現地にて開通式典を行います。

**【開通日】**

平成22年3月21日（日）（一般開放）15:00

**【開通区間】**

宮古道路 宮古南 IC～宮古中央 IC L=4.8km（国土交通省施行）

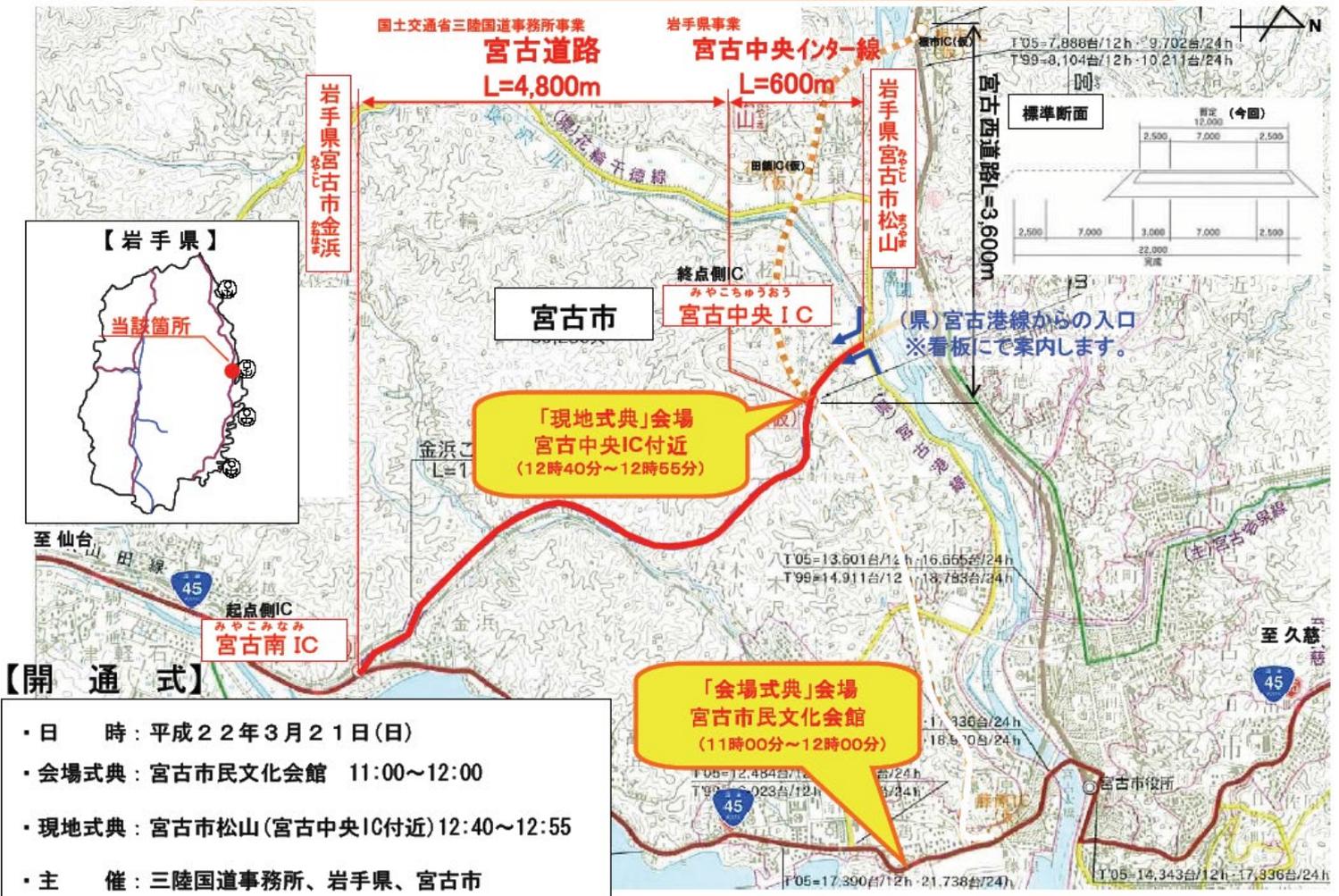
宮古中央インター線（宮古西道路） L=0.6km（岩手県施行）

**【開通式典】**

（会場式典）11:00～12:00（場所：宮古市民文化会館）

（現地式典）12:40～12:55（場所：宮古市松山 宮古中央 IC 付近）

## 宮古道路・宮古中央インター線 平面図



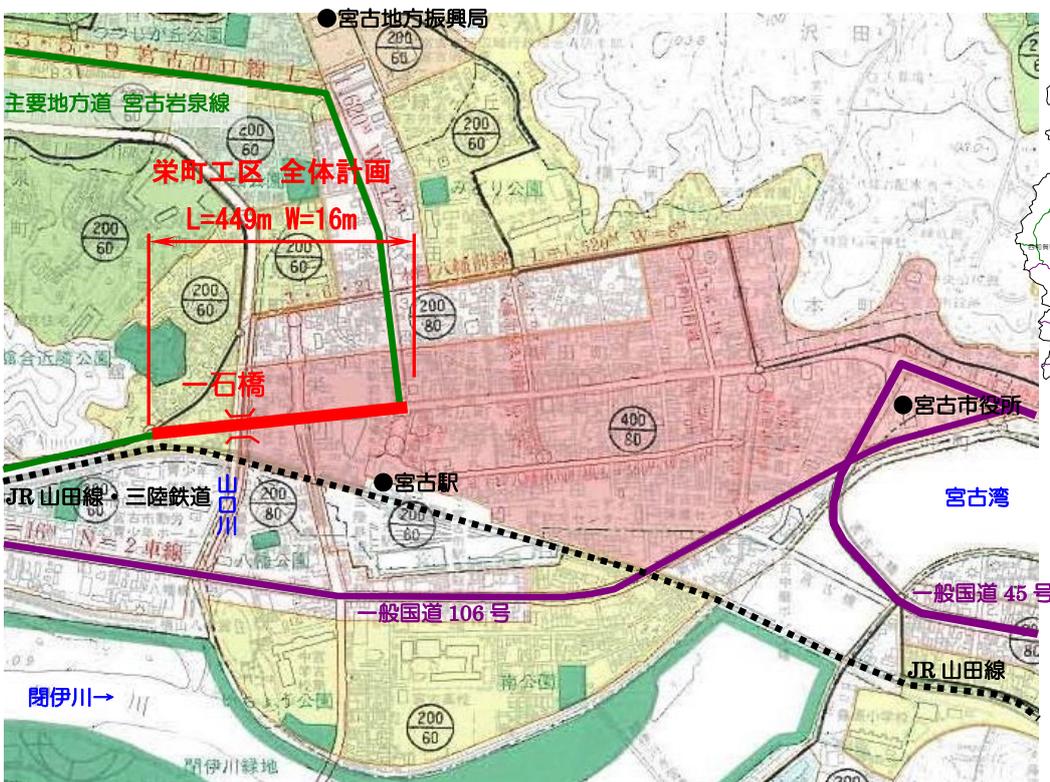
# 都市計画道路 宮古港線（栄町工区）街路事業完成！！

宮古地方振興局土木部

県が整備を進めてきた宮古市の都市計画道路 宮古港線（栄町工区）の街路事業が、平成22年2月12日に完成しました。

本工区は、宮古市中心市街地の通勤・通学路として利用される幹線道路でありながら、歩道が狭いうえに電柱が立っているため、歩行者がやむなく車道を通行し、朝夕に交通渋滞が発生するなど、安全で円滑な交通の支障となっていたことから、平成7年度から街路整備を進めてきたものです。

街路整備により、橋梁の架替えや電線類の地中化も実施し、宮古市の中心市街地にふさわしい、安全・安心で快適な道路空間が確保されたことから、市街地の活性化が期待されます。



整備前（平成7年度）



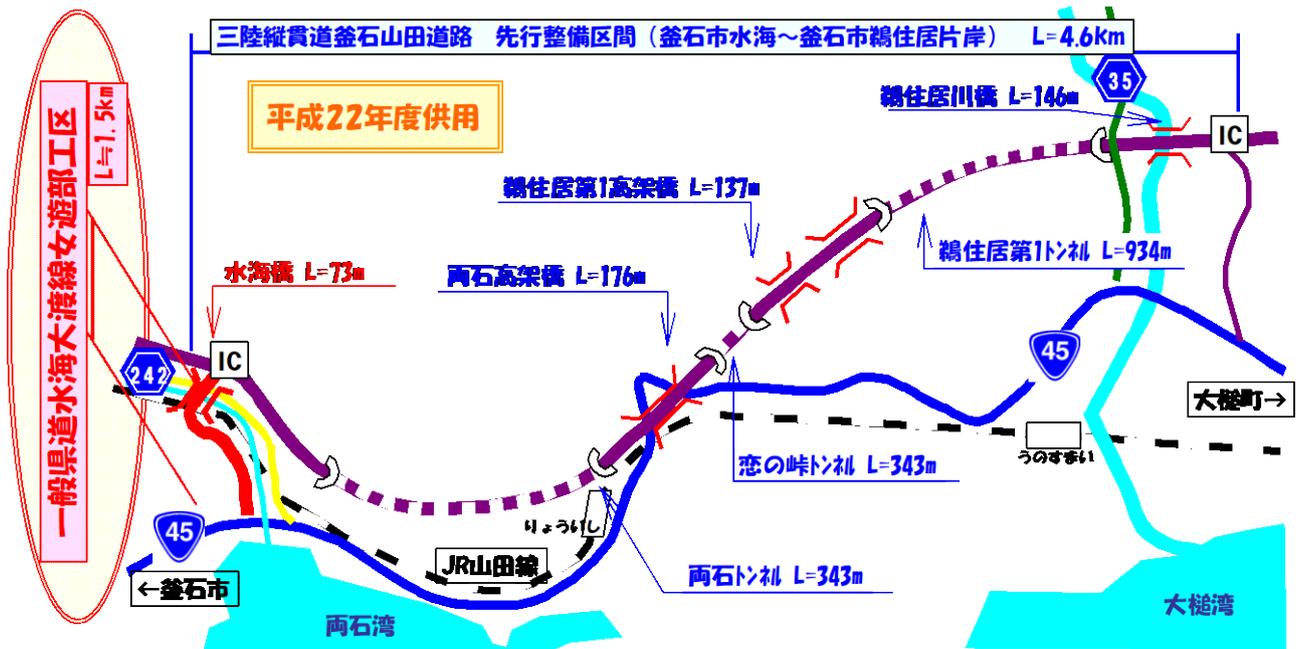
整備後（平成21年度）

# 釜石管内初の三陸縦貫自動車道供用を目指して！！

～三陸縦貫自動車道釜石山田道路と一般県道水海大渡線女遊部工区の工事が進んでいます～

## 釜石地方振興局土木部

国土交通省が施行している三陸縦貫道釜石山田道路は、平成 22 年度の一部供用を目指して整備が進められています。県では、釜石山田道路の供用に合わせて、現在の国道 45 号からのアクセス道路となる一般県道水海大渡線女遊部工区の整備を進めています。



### 三陸縦貫自動車道 釜石山田道路

釜石山田道路は、仙台市から宮古市に至る延長約 220km の「三陸縦貫自動車道」の一部であり、釜石市と山田町を結ぶ 23km の自動車専用道路です。

そのうち、釜石市両石町水海地区から鶴住居町片岸地区までの 4.6km については、釜石市鶴住居地区における渋滞の解消を目的に、国土交通省が先行整備区間として工事を進めています。

### 一般県道水海大渡線 女遊部 工区

釜石山田道路先行整備区間の南側（両石町水海地区）に計画されているインターチェンジと、国道 45 号との間を結ぶ道路を、一般県道水海大渡線女遊部工区として県が整備しています。

平成 22 年 1 月末時点で、約 75%（延長ベース）の改良工事が完成しており、主要構造物である水海橋（橋長 73.4m）も平成 21 年 11 月に完成するなど、釜石山田道路との同時供用に向けて、着々と工事が進んでいます。

#### 水海橋

H21.11 完成

上部形式 3径間連続鋼桁橋

床版形式 グレーチング床版



#### 改良済み工区



# 森林管理道大畑線開設工事が進んでいます！

県南広域振興局土木部

県が奥州市江刺区で整備を進めている森林管理道大畑線の開設工事が進んでいます。

平成22年1月26日には、新たに架橋した殿界橋でんがいばしの工事が完了したことに伴い、工事関係者や地元住民で橋名板の除幕式を行いました。

橋名は、昔から馴染み、言い伝えのある名称として、地元の意向で殿界橋でんがいばしに決定し、橋名板の揮毫は、地元の木細工小学校の児童にお願いしたものです。

除幕式当日は、木細工小学校に対して感謝状、児童に対して記念品を贈呈しました。参加した児童たちは、橋名板の出来栄えに満足し、喜びをかみしめていました。



**【事業概要】**  
 計画延長：L=4,383m 計画幅員：W=4.0m  
 事業期間：H19～H23 全体事業費：10億円



# 市道石堂構井田線が開通(一関市)

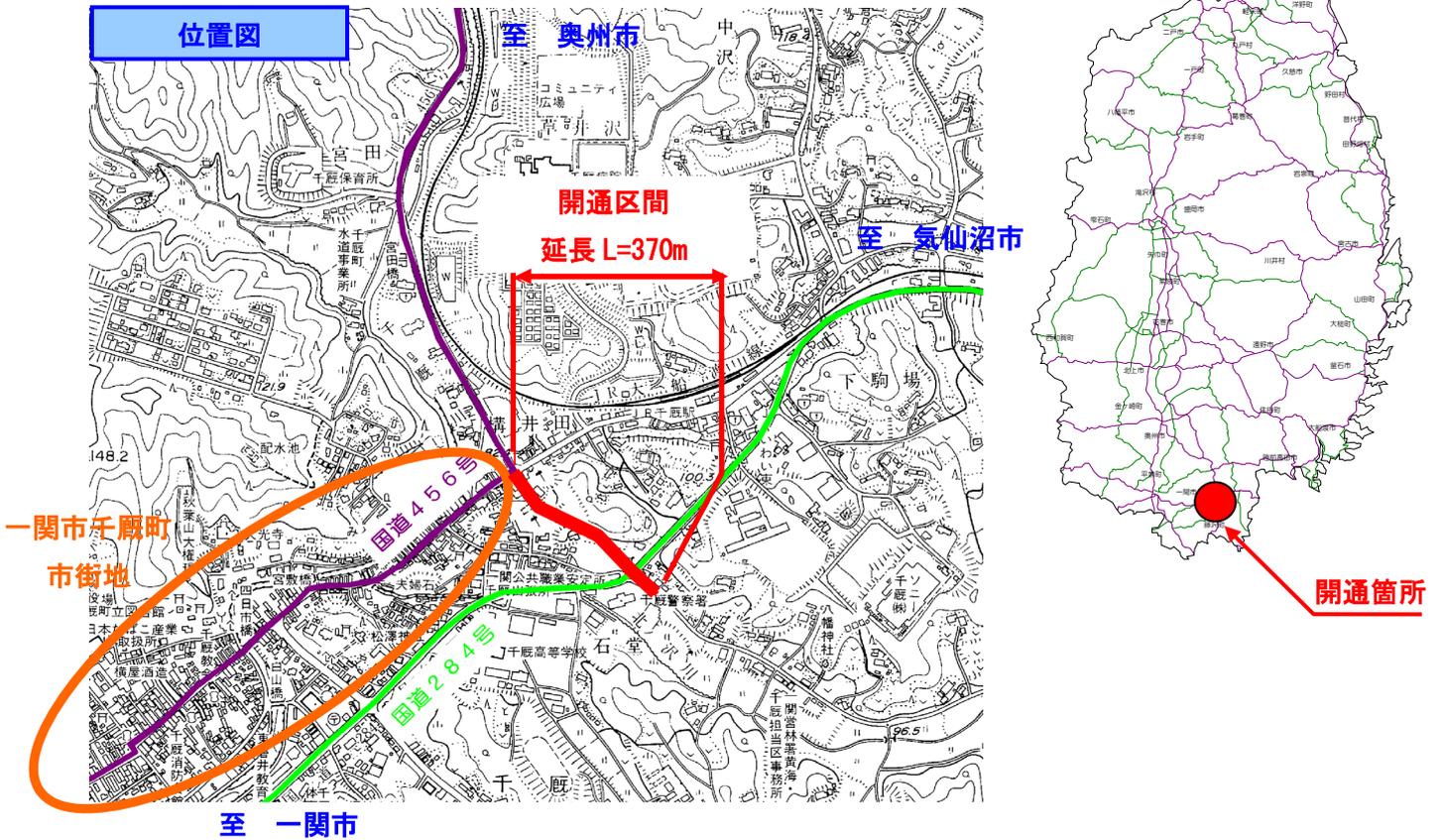
一関総合支局土木部 千厩土木センター

一関市が整備を進めていた一関市千厩町の国道284号と国道456号を結ぶ市道石堂構井田線が完成し、平成22年2月1日(月)に開通しました。

当日は、地元自治会等により組織された開通祝賀会実行委員会の主催による開通式が開催され、勝部修一関市長の供用開始宣言のあと、参加者による通り初めが行われました。

これまで、千厩町の市街地内を通る国道456号は、交通量の増大や車両の大型化により、朝夕は慢性的な交通渋滞が発生し、また道幅が狭いことから歩行者の危険性も指摘されていました。

今回の市道石堂構井田線の開通により、大型車両などの交通が市街地を経由せずに国道456号から国道284号へアクセス出来るようになったため、交通の利便性向上や歩行者の安全確保などが図られ、市街地の活性化が期待されています。



## 木造住宅耐震改修事例集を作成しました！

～地震に強く安全で安心な住宅に生まれ変わるために～

建築住宅課

県及び県内各市町村では、旧耐震基準で造られた木造住宅の耐震改修工事を行う県民の皆様に対して、**最大60万円の補助金**を交付しています。

平成22年1月末までに、合計132戸が補助金を活用して耐震改修工事を行っており、今回、この補助金を活用して耐震改修工事を行った住宅の中から、**特徴的な6事例**を抽出し、『**木造住宅耐震改修事例集**』を作成しました。

事例集は、耐震改修工事の内容を図面や写真で分かりやすくまとめるとともに、「耐震改修で安心を手に入れた」など、実際に工事を行った住民の感想も掲載しています。

また、耐震改修が必要な理由や、補助金を利用した耐震改修の流れ、耐震改修を行った場合の税制面の優遇措置（所得税・固定資産税の減免）なども紹介しており、**この1冊で耐震改修がよくわかる！**内容となっています。

耐震改修について理解を深めるため、是非、一度事例集をご覧ください！！

ふむふむ…

耐震改修工事ってこういうことをするのね！  
補助金もあるし、税金の控除もあるなんてお得！  
よし！後で相談してみよう☆



これで安心して眠れるワン！



### 木造住宅耐震改修事例集



この事例集は、木造住宅の耐震改修の必要性や具体的な改修工事の内容などを知り、少しでも多くの方から地震化を減らして頂くために作成したものです。  
事例集では、岩手県内で補助制度を活用し実際に耐震改修工事の紹介に加えて、県や市町村が行っている特約制度や補助制度など、地震化を軽減するための役立つ情報をまとめた紹介していますので、ご自身の地震化を軽減するための資料としてお役立て下さい。  
なお、工事費は住宅の状況により異なりますので、あくまでも目安としてご利用下さい。

岩手県

木造住宅耐震改修事例集は、こちらの建築住宅課のホームページでご覧いただけます！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=3336&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=786&pnp=3336&cd=17054>

第6回 いわて住まいの講座を開催します！

平成21年度

建築住宅課

第6回いわて住まいの講座

地域の景観とともに歩む『金山型住宅』(仮称)

講師 阿部 利広 氏 (阿部建築研究室 所長 [山形県])



1955年 山形県金山町生まれ  
 1985年 阿部建築研究室開設  
 一級建築士・金山町景観審議会専門委員  
 木造住宅を中心とした設計活動を展開。  
 木材の経年変化による美しさに引かれ、金山型住宅を中心として木材の使い方にこだわった設計を行っており、木材(杉材)を内外装にふんだんに使用した住まいづくりを提案。  
 ※ 設計事例 → <http://www.aads.info/>

参加  
無料

戦後の高度成長期において行われてきた開発という自然破壊と、それに伴う土地投機バブルが終焉し、そこで改めて見直された日本の「景観」。無秩序な街並み景観や景観に配慮しない土木構造物、自然破壊に目が向けられるようになり、平成16年には、日本初の景観に関する総合的な法律として『景観法』が制定されました。

一方、山形県金山町ではその「景観」への目を、今からおよそ半世紀前の昭和38年から向けていました。金山町の景観にこだわった町づくりは、当時の町長岸英一氏が提唱した「全町美化運動」に始まり、現在の街並み景観条例、街並みづくり100年運動に結びつき、町民自身が誇れる町づくり、誰もが住みたくなる町づくりが進められています。

その流れの中で、昭和59年には「金山町地域住宅計画」を策定し、在来工法を中心に切り妻屋根に木組みの柱と白壁作りといった「金山型住宅」の様式が体系化されました。現在では、町内の住宅の1/3にまで「金山型住宅」が広がっています。

今回講師としてお招きする阿部氏は、その「金山型住宅」の建設・普及を行っており、金山型住宅を建設する際のアドバイスを行う街並み景観審議会専門委員でもあります。

本講座では、これまでの金山型住宅の取組の成果を事例とともにご紹介いただくこととしております。

現在県において取り組んでおります「岩手型住宅」の建設促進や良好な景観形成にもつながるものですので、多くの皆様のご参加をお願いします。

日時	平成22年3月10日(水) 14:00~16:00
場所	アイーナ(盛岡駅西口) 8階 812研修室
定員	150名

お申し込み・お問い合わせ : けんみん住宅プラザ いわてハウジングフォーラム担当  
 電話 019-652-7744 / FAX 019-652-8123  
 URL <http://www.jutakuplaza.com/>

主催：岩手県・いわてハウジングフォーラム

## 「八幡平アスピーテライン」、「樹海ライン」開通予定日のお知らせ

～4月16日に「八幡平アスピーテライン」、4月28日に「樹海ライン」が開通します～

盛岡地方振興局土木部 岩手出張所

雪の回廊が楽しめる「八幡平アスピーテライン」は、**4月16日（金）**に開通する予定です。

昨年の開通日には、「いわて花巻空港」へのチャーター便で来県した台湾からの観光客も訪れ開通イベントに参加していただきました。山頂のレストハウスの脇に「かまくら」を製作したこともあり、雪のない台湾からのお客様には大好評でした。

今年は、**開通日から5月15日までの約1ヶ月間**、岩手県と秋田県を跨ぐ十和田八幡平国立公園エリアで「**桜と雪の回廊観光キャンペーン**」を開催します。キャンペーン期間中には「スタンプラリー」などのイベントも予定していますので、「八幡平アスピーテライン」にお出かけいただき、壮大な雪の回廊を楽しんでみてはいかがでしょうか。

また、「樹海ライン」は例年と同様に、**ゴールデンウィーク前の4月28日（水）**に開通する予定です。

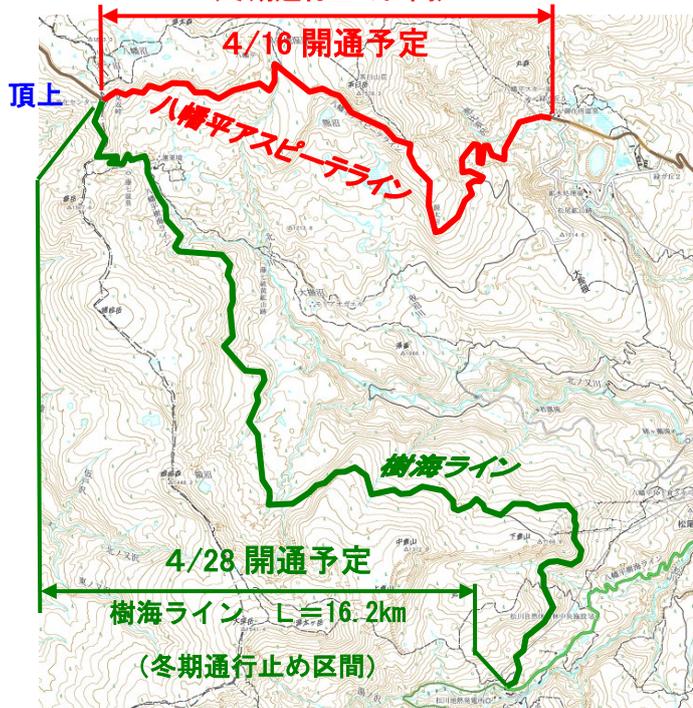
（※現地の気象条件等により、開通日が遅れる場合があります。）



雪の回廊「八幡平アスピーテライン」

八幡平アスピーテライン L=10.6km

(冬期通行止め区間)



昨年の開通式の状況(H21.4.17)



かまらの前で記念撮影



## さかなクンと遊ぼう! 『川と親しむ標語』コンクール 作品募集中!!

～語ろう川の楽しさ 防ごう水の事故～

河川課

県では、NPOと協働で、河川の水難事故防止活動に取り組んでいます。

特に、今年度から平成23年度までは、川で遊ぶ子どもたちと、引率する指導者に対する広報・啓発活動を重点的に実施していきます。

この取組の最初の活動として、平成22年3月7日まで県内の小中学生を対象にした『川と親しむ標語』コンクールの作品を募集しています。優秀作品は、河川水難事故防止のポスターやチラシなどに活用していく予定です。

ご応募いただいた作品は、3月22日に盛岡市で開催するイベント「エンジョイ・リバー in いわて」において来場者の投票により選考します。

なお、標語コンクールの特別審査委員長として、東京海洋大学客員准教授でタレントの「さかなクン」がこのイベントに特別参加します。イベントへの参加申込みも受け付けていますので、たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

### 『川と親しむ標語』コンクール

川は危ないところ。近づいてはいけないところ。私たちは、岩手の自然の中で成長していく子どもたちが、そのようなイメージを抱くことなく、安全で安心して川と親しめることが大切だと考えています。

川で楽しかったこと、川の未来の姿など、川への想いを標語などにして応募してください。

1. 応募資格：岩手県内の小・中学生。団体やグループでの応募も可能です。
2. 応募〆切：平成22年3月7日（日）当日消印有効
3. 選考：選考委員による事前選考の後、「エンジョイ・リバー in いわて」にて、選考委員と来場者の投票により決定します。優秀な作品は表彰し、記念品を贈呈します。

### エンジョイ・リバー in いわて

1. 日時：平成22年3月22日（月：振替休日） 13時から
2. 場所：アイーナ（8F 804会議室）
3. 参加費：無料
4. 参加対象：川や水辺での活動に関心のある人ならどなたでも参加可能！
5. 定員：200名 ※満席の場合は、事前に申込まれた方の先着順となります。

『川と親しむ標語』コンクールと「エンジョイ・リバー in いわて」の詳細は、こちらのHPをご覧ください！！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=181&of=1&ik=1&pnp=53&pnp=113&pnp=181&cd=23891>

～語ろう川の楽しさ 防ごう水の事故～

# エンジョイ・リバー in いわて

平成22年 **3月22日** 午後1時 **集合** 参加無料だよ!

場所 アイーナ (8F 804 会議室)  
定員 200名 ※満席の場合は、事前に申込まれた方の先着順となります。

- ◆ 私たちのエンジョイ・リバー発表会
- ◆ 川の安全ミニ講座
- ◆ みんなで遊ぼう! 『川と親しむ標語』コンクール
- ◆ さかなクンと遊ぼう!
- ◆ 「さかなクンのおさかなクイズと川のお話し」
- ◆ 『川と親しむ標語』コンクール 入選作発表

問い合わせ先 NPO法人 北上川流域連携交流会 リバーレスキュー協議会  
〒020-0126 岩手県盛岡市安倍館町14-6 担当:土田・齋藤  
TEL&FAX: 019-681-2517 E-mail: kappars189@yahoo.co.jp